

(募集要項) 平成30年度職業能力開発総合大学校教員の採用について「機械CAD」

1 採用予定者

(1) 職位・採用者数

准教授又は助教 1名

(2) 専門分野

「機械CAD」

本分野は、以下のとおりです。

①製品・製造モデリング、CAD/CAE、設計工学、計算力学等をバックボーンとする基盤ものづくり系機械分野

②生産工学や品質管理及び製造プロセスに関する知見を持ち、次代の有能な職業訓練指導員を養成するとともに、既存の職業訓練指導員へ専門知識・技術・技能を伝承研修する基盤ものづくり系機械分野

(3) 職務内容

職業能力開発総合大学校の教員として、指導員養成訓練、職業能力開発研究学域（修士相当課程）、指導員技能向上訓練、職業能力開発に係る調査研究及び総合課程（学士課程）等の指導業務等を担当する。

2 応募資格

(1) 教員としての要件

次の①から③の全てに該当する方

①人格高潔にして、その高い倫理観をもって業務を責任と誠意をもって遂行することができる方

②指導員養成訓練、職業能力開発研究学域（修士相当課程）、指導員技能向上訓練、調査研究及び総合課程（学士課程）を担当するに十分な指導能力を有する方

③ものづくり教育に関する優れた知識と技能を有し、更に教員として中核的な人材になり得るための業績を積み意志がある方

(2) 准教授としての要件

次の①から③のいずれかに該当する方

①博士の学位を有し、応募する専門分野に関する教育訓練・研究の指導経験があり、かつ、大学又は事業所等の勤務経験を合わせて通算15年以上ある方

②博士の学位を有し、研究所等における応募する専門分野に関する実務（教育・研究）経験が5年以上あり、かつ、大学等の勤務経験を合わせて通算15年以上ある方

③博士の学位を有し、大学における専任講師又は助教の経験が15年以上ある方

(※修士課程及び博士課程は実務経験と見なします。ただし、当機構の規程により実務経験の内容等により応募された職位に該当しない場合がありますので、その場合はご連絡を差し上げます。)

(※CADを活用した設計製図教育の分野に関心を持って取り組める方が望ましいこと。)

(※設計工学、CAD/CAEに関する分野で博士の学位を取得している方が望ましいこと。)

(※准教授については、大学等での教育歴が1年以上あることが望ましいこと。)

(3) 助教としての要件

次の①から③の全てに該当する方

①修士の学位を有する方

②応募する専門分野に関する実務（教育・研究）経験が原則10年以上ある方

③学位（博士）を取得していない方は、5年以内に取得する意志がある方

(※修士課程及び博士課程は実務経験と見なします。ただし、当機構の規程により実務経験の内容等に

より応募された職位に該当しない場合がありますので、その場合はご連絡を申し上げます。）
(※上記②の応募する専門分野に関する実務(教育・研究)経験が10年未満の方は、ご相談ください。)
(※CADを活用した設計製図教育の分野に関心を持って取り組める方が望ましいこと。)
(※設計工学、CAD/CAEに関する分野で修士以上の学位を取得している方が望ましいこと。)

3 待遇

(1) 給与等

①給与

当機構の職員給与規程による。

②諸手当

扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当等

③昇給及び賞与

昇給は年1回、賞与は年2回

④定年等

65歳までの継続雇用(※定年は60歳。定年後は65歳までの継続雇用。)

(2) 勤務場所

職業能力開発総合大学校(東京都小平市小川西町2-32-1)

(3) 勤務時間

8:45~17:00(※1ヶ月単位の変形労働時間制の適用有り。)

(4) 休日・休暇等

完全週休2日制(土曜日、日曜日)(※1ヶ月単位の変形労働時間制の適用有り。)、国民の祝日、年末年始(12月29日から1月3日)、年次有給休暇、夏季休暇、育児休業制度、介護休業制度等

(5) 福利厚生

健康保険、雇用保険、厚生年金、労災保険等の各種社会保険完備、財形貯蓄制度等

4 応募要領

(1) 応募書類

イ 履歴書(市販のもの、写真貼付)[※本人希望記入欄等に、応募する職位「准教授」又は「助教」のいずれか及び専門分野「機械CAD」を記載してください。]

ロ 卒業証明書等(資格要件を証明できるものであること。)

ハ 卒業した大学の成績証明書

ニ 個人調書(指定様式)

ホ 主要論文別刷り(査読付き筆頭論文、コピー可)

(2) 書類提出先

〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番2号

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 総務部人事課人事第四係あて

※ 職業能力開発総合大学校教員公募と朱書きして、書留郵便にて送付してください。

※ 提出された書類は教員採用の目的以外には使用しません。なお、採用とならなかった場合は返却いたします。

(3) 応募締切

平成29年11月22日(水) 当日消印有効

5 選考方法

第2次選考及び第3次選考は、それぞれ第1次選考及び第2次選考の合格者を対象として実施します。また、第2次選考及び第3次選考に要する旅費等の経費は応募者本人の負担となります。

(1) 書類選考(第1次選考)

上記4の応募書類により書類選考を行い、審査結果及び第1次選考の合格者には第2次選考日程を記した書面を平成29年12月末頃に投函します。

(2) 面接試験及び模擬講義(第2次選考)

実施日は平成30年1月9日(火)から12日(金)までの指定する日に東京都小平市の職業能力開

発総合大学校で実施します。また、模擬講義の概要については、准教授は別紙1を、助教は別紙2をそれぞれ参照してください。

なお、具体的な日程及び内容については、第1次選考結果に併せてお知らせします。

(3) 幹部面接（第3次選考）

実施日は平成30年2月中旬頃に千葉県千葉市美浜区の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構本部で実施します。

具体的な日程及び内容については、別途お知らせします。

6 採用日

平成30年4月1日

7 お問合せ先、提出書類送付先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 総務部人事課 西村、丸山、小山

〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番2号

Tel. 043(213)6124、6126、6127

E-mail saiyou@jeed.or.jp

模擬講義「機械設計」の実施について

1 模擬講義について

模擬講義では、下記2の授業項目の「⑥ねじの設計」の中から、「ねじの締付力と締付トルク」について講義を行う。

(1) 模擬講義内容

- ・パワーポイントを使用し、10分程度の模擬講義の実演を行い、実演後に質疑応答（10分程度）を行う。

(2) 準備品

- ・講義用のパワーポイント資料

(※下記2の「⑥ねじの設計」については項目が多岐に渡ることから、設計に必要な項目の全体像をはじめに提示するとともに、模擬講義で扱うテーマの位置づけと学習目的を簡潔に説明できるように準備すること。)

- ・学生配布用資料

2 「機械設計」講義例

[授業概要]

これまでに学習した材料力学Ⅰ、工業材料、基礎製図、機械製図、機械設計製図、機械工作、機械加工学Ⅰ、CAD実習Ⅰの知識を基に、様々な機械装置に共通して使われる機械要素の強度、剛性、精度及び機能面の設計法について学習する。また、設計仕様を満たす機械要素について、JISで規格化された標準部品の中から選定できる能力を身につける。

[授業項目]

- ① 講義ガイダンス及び機械設計の基礎
- ② 機械設計に必要な工業材料の知識
- ③ 機械設計に必要な材料力学の知識
- ④ 強度設計と剛性設計
- ⑤ 精度設計
- ⑥ ねじの設計**
- ⑦ 軸と軸継手の設計
- ⑧ 軸受の設計と選択
- ⑨ 歯車の設計
- ⑩ ベルトとチェーンの設計
- ⑪ クラッチの設計
- ⑫ ブレーキの設計
- ⑬ リンク機構及びカム機構の設計
- ⑭ ばねの設計
- ⑮ 管用機素の設計と選択
- ⑯ 座屈設計

模擬講義「CAD実習I」の実施について

1 模擬講義について

模擬講義では、下記2の授業項目の「**⑧ 表面性状（仕上げ記号、粗さ記号）**」に関して、実習課題に取り掛かる前に、JIS機械製図に基づく表記法の要点を教示する講義を行う。

(1) 模擬講義内容

- ・パワーポイントを使用し、10分程度の模擬講義の実演を行い、実演後に質疑応答（10分程度）を行う。

(2) 準備品

- ・講義用のパワーポイント資料
(※下記2の「**⑧ 表面性状（仕上げ記号、粗さ記号）**」について、それらの記号を図面に指示する必要性とこの授業項目の学習目的を簡潔に説明できるように準備すること。)
- ・学生配布用資料

2 「CAD実習I」講義例

[授業概要]

最初に2次元CADの使用方法を学習する。次に、図面に含まれる種々の生産指令情報を、2次元CADを用いて正確に表現する能力を養う。一般的な機械部品と、ねじ・歯車・軸受などの規格部品の機械製図的表現を行えるようにする。さらに、機械装置の組立図の作成と、規格部品の選定ができるようにする。

[授業項目]

- ① ガイダンス及びCADシステムの概要と基本的な利用方法
- ② 2次元CADの基本操作
- ③ 練習課題の作図作業
- ④ 立体図と正投影図、第三角法
- ⑤ 断面法
- ⑥ 寸法記入法
- ⑦ 寸法公差及びはめあい
- ⑧ **表面性状（仕上げ記号、粗さ記号）**
- ⑨ 幾何特性仕様(GPS)
- ⑩ JIS規格部品の活用法及びボルト・ナット部品図
- ⑪ ボルト・ナット締結体
- ⑫ 転がり軸受部品図
- ⑬ 転がり軸受で支持される回転軸
- ⑭ 平歯車部品図
- ⑮ 平歯車伝動軸
- ⑯ 回転軸組立図（総合課題）
- ⑰ 回転軸組立図（総合課題）
- ⑱ 回転軸組立図（総合課題）